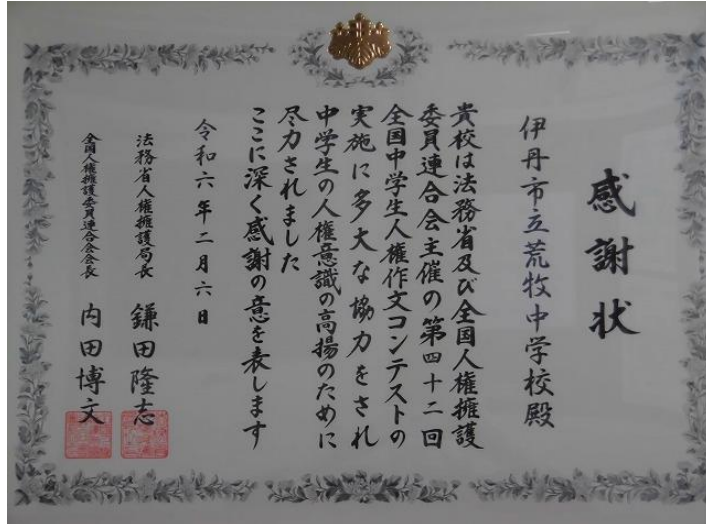


校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和6年2月19日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 2月 如月(きさらぎ) 第29号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 H.P.「学校生活の様子」より】

2月9日(金曜)法務省・全国人権擁護委員会より感謝状



本校宛てに、立派な感謝状が届きました。先生方とみなさんが、日頃から人権意識の高揚のための取り組みをしていることが、人権作文に示され、多くの優秀な作文を応募したことへの感謝状です。「ローマは一日にしてならず」という中世ヨーロッパの古いことばがあります。大事業を成せるには努力が大切ということですが、人格形成において、命と人権を大切にできる基盤が何よりも大切です。人が、「人」と「人」の間で、人間として生きる中で、最も大切である事を人との関わりの中から身につけていくのです。

人生という大事業を成すために。

2月16日(金曜)おはなしメイプルさん ありがとうございました(*^o^*)

毎月、各学年1回金曜日の朝読書の時間に絵本の読み聞かせでお世話になっている地域のボランティアグループ『おはなしメイプルさん』の活動が、今日の1年生で今年度は最終回でした。月に1回、わずか10分ではありますが、ことばや物語の世界に触れ楽しむ時間は、とても豊かで、素敵な時間となり、子どもの”こころの温暖化”につながったと思います。1年間、本当にありがとうございました。【メイプルさんからのメッセージ】活動に向かう途中、荻野橋を渡ろうとしたら3年生の女子がさりげなく「お先にどうぞ」と、道を譲ってくれました。朝からとても素敵な気分になりました。そんな人たちが育っている荒中が大好きです。来年度もよろしくお願いします。

2月17日(土曜)「わかる！ できる！ やってみよう！」土曜スクール

学年末テストにむけての土曜スクールが開催されました。今日が年間11回の最終日でした。今年度は、のべ242名の参加がありました。自ら考え、行動する荒中生。地域の皆さまに支えられ、学習会や面接練習で、お世話になりました。自ら考え、行動した生徒は、終わりの時間がきても片付けようとしません。もう少し、、、ここまでできたら、、、と手が止まりません。教え合い学習をする様子もたくさん見られました。やる気、本気、成長。はじめからできる人はいません。努力を継続してこそ力となっていきます。

★★★ 荒中こころの温暖化計画 ★★★

2月の保健だよりにもありましたが、保健室の前にも掲示物で表示されています。特に、3年生にとって入試を控えて心にゆとりがなくなってきたのではないのでしょうか？相手を思いやる、優しい言葉が飛び交うと、温かい気持ちになりますね。もうすぐ、卒業式、修了式です。

たす(+)
けあって、ひき(-)うけて、

声かけ(×)あって、いたわって(÷)

荒中こころの温暖化

